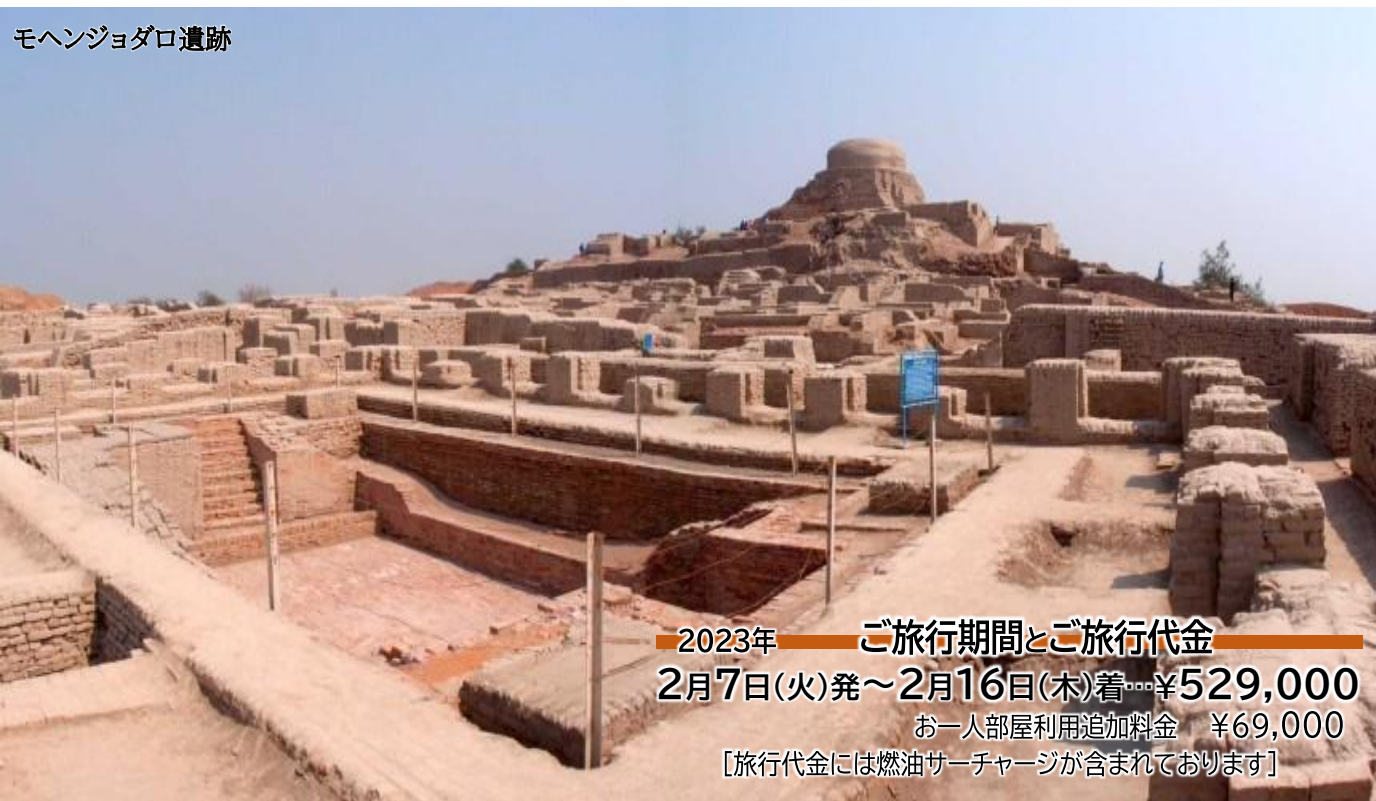


古代文明モヘンジョダロとシルクロード・ガンダーラの旅

モヘンジョダロ遺跡



2023年 **ご旅行期間とご旅行代金**
 2月7日(火)発～2月16日(木)着 ¥529,000
 お一人部屋利用追加料金 ¥69,000
 [旅行代金には燃油サーチャージが含まれております]

モヘンジョダロ～インダス文明最大の都市

インダス文明最大規模の都市で、そのスケールや遺物の豊富さの点で、この文明のまさに中心をなしていました。政治的・宗教的機能の中核であった城塞と一般家屋が集まる市街地には、およそ4万人が暮らしていたと考えられています。

東西南北の大通りで区画するなど周到な設計プランに基づいて築かれた計画都市です。これほど焼レンガが多用された例は古代文明の中でも例がありません。ここが活発な交易センターであったことは、メソポタミアに由来する多数の印章と豊富な装身具などの出土品から証明されています。



ムルタン～青いダルガーの街



パンジャブ州南部に位置する町・ムルタンは、昔から暑さと埃で形容されてきました。まさにこの表現がぴったりと思える茶色がかった町は、古代の交通の要衝であり、聖者廟ダルガーが多く集ま

っています。中でも「世界の柱」を意味するシャー・ルクネ・アラムは、現在も祈りにやってくる多くのムスリムにとって心の柱となっています。

パキスタンには8世紀頃からイスラム教が流入していましたが、パキスタン独自のイスラム建築が開花したのは14世紀頃で、その中心がムルタンです。ムルトンのダルガーは、八角形の基盤の上に円形ドームが重ねられ、煉瓦と青いタイルとを組み合わせた美しいデザインが特徴的な聖人廟です。茶色が基調のこの町で、ムルタン・ブルーのタイルの青がより一層目を引きまします。別名は「南のサマルカンド」です。

世界遺産タッタの文化財

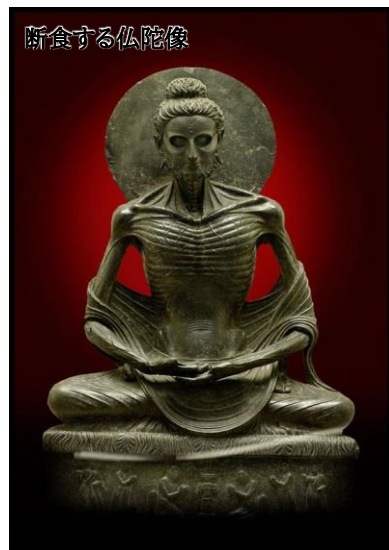
14世紀から400年間にわたり、ペルシャとインドを結ぶ、インド地方の首都だったタッタは、肥沃なインダス河デルタ地帯に位置し、交易が盛んに行われ繁栄を極めました。パキスタン南部で最大の見どころと言える、ムガル朝第5代シャー・ジャハーン帝により建てられたモスクがジャミ・マズジッド(通称シャー・ジャハーン・モスク)で、レンガによる内部の見事なデザインや、90個の小ドームで覆われた美しい回廊などが素晴らしいモスクです。

3km程郊外にあるマクリーの丘は「小さなメッカの丘」を意味し、14～18世紀にかけて造られた、王や学者の約100万基の墓碑や廟が立ち並びイスラム世界最大級の墓地で、シャー・ジャハーン・モスクとともに世界遺産に指定されています。

釈迦苦行像(断食する仏陀像)

ガンダーラ美術の特徴の一つであるリアリズム(現実主義)表現を極度に押し進めたガンダーラ美術の傑作中の傑作。

インド内部では釈尊の苦行像は知られず、釈尊を歴史的・人格的存在として扱えた、ガンダーラ職工たちの現実感覚がよく窺える、人類史上に残る傑作です。釈尊は悟達を求める多くの遍歴の後、最後に苦行に入り、6年間に及ぶ激しい断食苦行をなしたと伝説は伝えていますが。ガンダーラの職工たちは、釈尊のその肉体的苦しみに耐え抜いた神々しいばかりの精神力を表そうとしています。落ちくぼんだ眼、骸骨のような痩せこけた体躯のリアルな表現は、観る者に釈尊の肉体的苦しみのみならず精神的苦悩も感じさせます。しかも現実主義から出発しながら、ここにはそれを越えた崇高さがあります。



ご利用ホテル

- ラホール/フォーポイント・バイ・シェラトン、リュクス・グランドホテル
 - ムルタン/ ラマダホテル、アパリ・エクスプレス・ムルタン
 - サッカール/ホテル・ワン、インターパークホテル、チェン・イン
 - ハイダラバード/ホテル・インダス、ホテル・イン
 - カラチ/メハーンホテル、レジェント・プラザホテル
- ※上記または同等クラスとなります。

ご旅行条件

- 募集人数/16名様定員
 - 最少催行人数/8名様
 - お食事/朝食7回・昼食7回・夕食7回
 - 旅券残存期間/6ヶ月以上
 - 成田・千歳空港利用/¥5,640(別途必要)
 - 査証用写真/2枚要(4.5cm×3.5cm)
 - パキスタン査証料・同取得手数料/¥6,500(別途必要)
 - 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
 - 国際観光旅客税[出国税]/¥1,000(別途必要)
 - トランク往復無料託送サービス [ご自宅～空港～ご自宅]
- ※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
 ※右記の「○」はお食事の有無を示します。「→」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。
 ※現地地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。

都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1 千歳 バンコク ラホール	スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港 ■午前、千歳空港より、タイ国際航空にて、バンコクへ[10:00発]。 ■バンコク到着後、タイ国際航空を乗継ぎ、西パンジャブ(パキスタン・パンジャブ)地方の中心都市・城郭都市ラホールへ[22:40着]。 【美しい中世都市ラホールに連泊】です。 ☒・☒・☒[ラホール泊]
2 ラホール (ワガー) [フラッグ・セレモニー]	■午前、ムガル帝国の都として繁栄し、数多くの遺産を残すラホール市内観光へ。ガンダーラ美術の傑作“断食する仏陀像”などを展示するラホール博物館、ムガル帝国の栄華が偲ばれるバード・シャヒー・モスク[世界遺産暫定リスト]、ラホール城塞[世界文化遺産]、シャリマール庭園[世界文化遺産]へご案内します。 ■昼食は、スパイシーな香りのするパンジャブ風カレー料理“ローガン・ジョシュ”です。 ■インドとの国境ワガーにて、日没前に行われるフラッグ・セレモニー(国旗降納式)もご覧いただけます。 ☐・☐・☐[ラホール泊]
3 ラホール ハラッパー ムルタン	■午前、インダス文明の都市遺跡ハラッパーへ。インダス河沿いに栄えたモヘンジョダロと同時代の紀元前3000年から前1700年の古代都市文明の遺跡[世界遺産暫定リスト]と博物館をご覧ください。 ■午後、パンジャブ平原の中心に位置し、青いタイルが美しい古都ムルタンへ。 ■夕刻、シャー・ルクネ・アラムのダルガー[世界遺産暫定リスト]や、パハラツ・ディン・ザカリヤのダルガーを見学します。 ☐・☐・☐[ムルタン泊]
4 ムルタン ウッチュ・ジャリフ サッカール	■午前、13世紀にイスラム聖者の町として栄えたウッチュ・シャリフへ。小高い丘に建つムルタン様式のビービー・ジャヴィンディー・ダルガーをご覧ください。 ■午後、インダス河沿いに南下し、モヘンジョダロ観光の拠点サッカールへ。 【インダス河西岸サッカールに連泊】です。 ☐・☐・☐[サッカール泊]
5 サッカール (モヘンジョダロ)	■終日、古代四大文明の一つ・インダス文明のモヘンジョダロへ。紀元前3000年から前1500年頃に栄えたインダス河西岸にあるモヘンジョダロの古代都市遺跡[世界文化遺産](城塞地区、市街地区、博物館など)をご案内いたします。 ☐・☐・☐[サッカール泊]
6 サッカール コート・ディージ ハイダラバード	■午前、コート・ディージにある18～19世紀の巨大な岩やインダス文明の都市遺跡をご紹介します。 ■昼食は、チキンの“シンディー・ビリヤニ”です。 ■午後、イスラム以前からの古代都市“香水の都”ハイダラバードへ。 ☐・☐・☐[ハイダラバード泊]
7 ハイダラバード タッタ カラチ	■午前、“東洋のエルドラド”と呼ばれたインダス河畔の古都タッタへ。かつてのアレキサンダー大王の通った道を走って向かいます。 ■着後、ムガル帝国時代のシャー・ジャハーン・モスク[世界遺産暫定リスト]や、パキスタン最大の霊廟群マクリーの丘[世界文化遺産]へご案内いたします。 ■昼食は、この地方のビリヤニ“メモニ・ビリヤニ”です。 ■午後、細かい装飾が印象的なチャウカンディーの墓に立ち寄った後、パキスタン南部の“混沌の都”カラチへ。 ☐・☐・☐[カラチ泊]
8 [国立博物館] カラチ	■午前、“神宮王像”などモヘンジョダロの出土品やガンダーラの遺物を展示するカラチ・パキスタン国立博物館を見学いたします。 ■昼食は、日本料理店「サクラ」にて。 ■午後、パキスタン最大の都市カラチ市内観光です。パキスタン“建国の父”ムハンマド・アリー・ジンナー廟、モハッタパレス、壮大な洗濯場ドビガートを観光します。 ■夜、タイ国際航空にて、バンコクへ[23:35発]。 ☐・☐・☐[機中泊]
9 バンコク 成田 千歳	■朝、バンコクに到着 [06:10着] 後、タイ国際航空を乗継ぎ、帰国の途へ [08:00発]。 ■午後、成田空港到着 [15:50着]。入国審査・税関検査終了後、航空機にて、千歳空港へ。 スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 ☒・☒・☒